

この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

一日保護司 安全社会願う

花北青雲 花巻市役所で活動
高生3人



メッセージを伝える(左から)稗貫祥子さん、小原和也君、木村七生さん

花巻市の花北青雲高の生徒会長稗貫祥子さん(3年)、副会長の小原和也君(同)と木村七生さん(2年)の3人は9日、一日保護司の活動として、社会を明るくする運動の内閣総理大臣メッセージを上田東一市長に伝達し、安全安心な地域社会づくりを求めた。

市役所を訪ね、稗貫さんが「過ちから立ち

直ろうとする人たちが地域の中で適切な仕事と居場所を確保し、社会復帰できるよう支援することが重要」とメッセージを読み上げた。

3人は先月、同運動の花巻市実行委(会長・鎌田嘉道花巻地区保護司会長)から一日保護司を委嘱され、7月の同運動強調月間に合わせて活動した。同校たい」と誓った。

生徒会はJ.R石鳥谷駅や校門であいさつ活動を展開しており、稗貫さんは「地域で受け入れられることが大切と学